

### 外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	町内会に加入し、今年度は組長を務めた。老人会、町内の祭りなどにも参加している。1階のフロアには子ども達がいつでも寄れる図書室があり、ソフトクリームも楽しめる。集会室は地域に開放され会合に利用されるほか、ホーム主催の和楽器コンサートが行われたりしている。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	定期ではなくこの1年間では5回の開催が確認された。町内会長、提携医の看護師、地域住民、地元学校の教諭、入居者、職員をメンバーとする。入居者が加わることで「認知症」の理解が深まるため、参加してもらっている。外部評価結果の報告、地域の行事についてや防犯、感染症予防等、継続的に話されている。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	ホームからは月に1回以上、行政担当者の下に出向き、実情、ケアサービスの取り組みを報告し、必要に応じ情報収集している。地域の清掃を法人として推進しており、行政に「地元以外の公園でも定期的に清掃します」と申し入れたが要請はなかった。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	以前ホーム便りを毎月作成していたが、人手が足りず現在は休刊している。運営推進会議には家族も参加されるので、家族会も兼ねて今年度は5回開催された。面会時間の制限はなく、家族も頻繁に訪れ要望を述べられる。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	×
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

認知症であっても自分より年上の高齢者であることを新人研修から叩き込まれ、「ノーマライゼーションの考え方に基づき、高齢者本人の意思を尊重し、誰もが自立した生活と自己実現が出来る地域福祉の向上」を目指している。「入居者のニーズを感じ取れない者はフロアに立つな」が合言葉であり、職員は常に入居者のつばやきや行動を細大漏らさずチェックし、記録している。入居者が「昼前に散歩に行きたい」と言えば、職員のシフトを調整したり、「NO」と言う前にあらゆる可能性を試している。それには職員の負担も大きく、一時期離職者も出たため、現在は、入居者、家族の希望、職員の数+スキルの3つのバランスを考えた上で取り組んでいる。実現ができない時は、入居者本人や家族に理由をきちんと説明しており、腹を割って本人や家族に話せる関係ができています。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。  地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。  運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。  利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。  家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。